

MGD 検査報告フォーマット

検査名 自覚症状質問表

記入者氏名 天野史郎、有田玲子

検査の目的 MGD の screening あるいは診断のために患者の自覚症状の有無を確認する。

検査法 患者に質問表に回答してもらう。

検査に必要な物 質問表。

これまでの報告の結果

Dry eye syndrome(DES)に関する自覚症状質問表はこれまでにいくつか報告されているが MGD を念頭に置いた質問表は報告されていない。

症状がある場合、その頻度を回答させる場合もある。

検査の variation

項目数、項目内容、頻度の聴取の有無など、各表によってさまざま。

Repeatability (検者内、検者間) N/A

Sensitivity N/A

Specificity N/A

検査の問題点

MGD 診断のための自覚症状質問表がないこと。

問題点への解決策

MGD 診断のための自覚症状質問表の作成を試みた。質問項目として、眼の疲れ、目やに、ごろごろ・しょぼしょぼ、乾き、べとつき、眼の不快感、眼の痛み、流涙、眼のかゆみ、充血、目が重い、まぶしい、瞬きが多い、ものもらいの既往、の 14 項目とし、それぞれの有無を質問した。対象は正常者 8 1 名、閉塞性 MGD 6 7 名。両群で有意な差があった項目は、眼の疲れ、目やに、ごろごろ・しょぼしょぼ、乾き、べとつき、眼の不快感、眼の痛み、充血、目が重い、瞬きが多い、の 10 項目であった。この 10 項目のみを使用し、2 項目以上がある場合を MGD 陽性とした場合、specificity 45.7%, sensitivity 92.5%、3 項目以上を陽性とした場合、specificity 79.0%, sensitivity 79.1%、4 項目以上を陽性とした場合、specificity 88.9%, sensitivity 64.2%であった。

さらに、10 項目のうち最も両群で有意な差があった 3 項目（ごろごろ・しょぼしょぼ、眼の乾き、眼の不快感）のみを使用し、2 項目以上を陽性とした場合、specificity 79.1%, sensitivity 92.5%であった。

以上より、MGD の screening のための簡便な自覚症状質問表として、ごろごろ・しょぼし

よぼ、眼の乾き、眼の不快感、の 3 項目のうち、2 項目以上を陽性とする方法を提案したい。

脂漏性 MGD17 例、正常者 81 名での比較では、上記 14 項目のうちで有意な差が両群間で見られたものが、ごろごろ・しょぼしょぼ、べたつき、眼の不快感、眼の痛み、充血の 5 項目であった。この 5 項目のみを使用し、2 項目以上がある場合を陽性とした場合、specificity88.9%, sensitivity 82.4%であった。

文献